



未来の先生展
2017

理想の家族のカタチを考えよう

～親子でレゴを使って理想の家族について対話する～

ワークショップ形式

開催日時

2017年8月26日(土) 10:00-11:30

場 所

武蔵野大学有明キャンパス 1号館4F 405教室

司 会 者

井澤 友郭 (こども国連環境会議推進協会 事務局長)

内容

対象：小学4年生以上（小学生は親子での参加とさせていただきます。中学生以上はお一人だけの参加も可能です。）

自分らしさとは何か、自分が望む未来の姿について、自分の言葉で語れますか？

親として、お子さんにどうなって欲しいのかを、あなたの言葉で伝えてありますか？本プログラムは、誰もが知っているレゴブロックを活用することで、子どもと親、それぞれの「言葉にできない想い」を共有し、お互いの願いと想いに気づき、大切な役割を見つけることを目指します。レゴで作品を創るだけの「創作ワークショップ」ではありません。Google、マイクロソフトなどの多数の企業や官庁で組織運営や人材開発のために採用され、成果を上げているレゴ®シリアスプレイ®といメソッドを活用した対話型のワークショップです。レゴという「新しい言語」の可能性を、体感してください。

ここに注目！

レゴを活用した言語化は、デザイン思考やナラティブ・アプローチ、経験学習、U理論など、さまざまなメソッドを取り入れています。自分自身が感じていることを手を動かしながらレゴを通して語り合うことで、なかなか言葉にできない想いや、まだ言語化ができないような気づきが共有できるだけでなく、コラボレーションスキル、クリティカルにふりかえるスキルといった21世紀型スキルの獲得につながります。新学習指導要領が目指す主体的な人材を育てるために、対話的で構造的な学びの場をガイドすることは重要ですが、レゴを活用したメソッドは、ご家庭でも実践できる大きなヒントになると考えています。21世紀型スキル、非認知スキル、プレイフル・ラーニング、経験学習などに興味関心のある方は、ぜひご参加ください！

団体（個人）プロフィール



井澤 友郭（いざわ ともひろ） こども国連環境会議推進協会 事務局長

大阪大学 大学院 招聘研究員、ワークショップ デザイナー、LEGO®SERIOUS PLAY®ファシリテーター

「持続可能な社会を実現する人を創る」をテーマに活動をしている教育NGO「こども国連環境会議推進協会」の事務局長として、2003年から活動。「持続可能な開発目標：SDGs」や「危機管理」をテーマに、課題解決やリーダーシップ開発などのワークショップを年間200回以上開催し、延べ1万人以上の社会人・学生を育成してきた。

参加者へのメッセージ

過去に参加した教育関係者、企業や自治体職員の感想メッセージを紹介します。

- ・レゴを活用することで「言葉」が与える意味合いよりも、より具体的でかつ深みのある考えを表すことができる（自治体職員）
- ・手は脳の一部とファシリテーターの方が表現していましたが、直感的にレゴを使って表現し、その抽象的なものを言葉の意味付けを行って表現すること…意味付けを行うために、意識の水面下の部分を掘り起こさせることが大切であると思いました（企業人事）
- ・言葉が自分の内面から沸き起こってくるという不思議な感覚を、多くの生徒に体験して欲しい（教員）

